



小金山

こがねやま

標高
150m



小金山からの景色
(登り途中)



小金山の木



地元の三浦さんが、「小金山に、みんなで集える公園を作ろう」と呼びかけ、つくり始めました。でも、手伝ってくれていた方々が年を取って、年々、人数が減っていき、公園作りは中断してしまいました。三浦さんは「今でも公園を作りたいと思っている。だけど、一人では、手が付けられないから」と言ってみえます。三浦さんの考えに賛同していただける方のご協力をお願いします。

小金山にある花を三浦さんが調べたそうです。

「ハルリンドウ」「ショウジョウバカマ」「ウツボグサ」「ノギラン」
「カキラン」「キンミズヒキ」「アキノタムラソウ」「ユウスゲ」
「オミナエシ」「ワレモコウ」「ツルリンドウ」「カンアオイ」

小金城(牧平城) 小金山の山頂が城跡と伝えられていますが遺構はなく、豊富村誌によると永録年間から天正年間の時期に城があり、城主は菅沼正庵と記されております。

ごんべえ窯



小金山にある
ごんべえ窯

みんなで集える、楽しめる窯焼き窯を作ろうと、三河窯やき塾の塾長、斎藤和彦氏の指導のもと、愛知炭やきの会(神谷輝幸会長)の協力により平成18年3月12日より、築窯教室として炭窯づくりに入り、3月25日、火入れの運びとなりました。炭焼きの材料は、伐採をしたヒノキ、雑木を使用、できた炭は森の再生、米づくりに使います。

2006年3月25日住民手づくりの炭焼き用のごんべえ窯完成!

ごんべえ窯のことは、新聞にのりました! 三浦紹夫会長は、「楽しくて自由な活動が会のモットー。これからも子どもたちと楽しんでいきたい」と笑顔を見せて語ってみえました。